

評価対象年度	平成 30 年度
1次評価日(課長等)	元 年 9 月 30 日
2次評価日(部長等)	元 年 9 月 30 日

# 施策評価表

## 1 施策の概要

施策名	母子保健の充実	コード	4-3
この施策の主な内容(細施策)	(1) 妊娠・出産に関する安全・安心への支援 (2) 子どもの健やかな発達の促進と育児不安の軽減 (3) 思春期からの保健対策の強化と健康教育の推進		
第4次総合計画におけるこの施策の目的	未来を担う子どもを安心して産み育てられるよう、妊娠、出産、育児について健診や訪問等を行うことにより、母子の健康保持増進を図る。		
担当部課	部 健康福祉部	課等 健康推進課	作成者 林 康範

## ●施策の実施内容 (D0)

### 2 施策指標の達成状況

\* 第4次総合計画(最終年度:平成30年度)における目標指標の達成状況、第5次総合計画(前期計画:令和5年度)における目標値

施策指標名	単位	28年度	29年度	30年度		元年度	5年度	
		実績値	実績値	目標値	実績値	達成率	目標値(第5次)	目標値(第5次前期)
① 3~4ヶ月健診受診率	%	97.5	98.4	100.0	98.1	98.1%		
指標説明	母子保健法に定める健診対象者の受診割合							
② 9~10ヶ月健診受診率	%	97.2	97.6	100.0	97.5	97.5%		
指標説明	母子保健法に定める健診対象者の受診割合							
③ 1歳6ヵ月健診受診率	%	98.0	97.2	100.0	97.9	97.9%		
指標説明	母子保健法に定める健診対象者の受診割合							
④ 3歳児健診受診率	%	97.8	95.0	100.0	98.5	98.5%		
指標説明	母子保健法に定める健診対象者の受診割合							

### 3 施策全体にかかる合計コストの推移

\* 項目6より「直接事業費」「人件費」の合計を自動表示

単位:千円

	28年度	29年度	30年度	元年度(予算)
直接事業費	49,778	53,083	55,126	66,118
人件費	26,640	26,640	24,000	24,000
合計コスト	76,418	79,723	79,126	90,118

## ●施策の評価 (CHECK)

### 4 施策の現状評価

\* 30年度に施策の目的がどこまで達成できたか、施策の進行状況に関する順調/不調の判断

不妊・不育に悩む者に対し、治療費の助成等を実施し、経済的負担の軽減と出生率向上に努めた。  
乳幼児健診をはじめ各種母子保健事業を通じ、子どもの健やかな発達を促し、健康管理を行うとともに、育児支援として、各家庭状況に応じた保健・栄養・歯科指導により、育児不安の軽減、安心して育児に取り組める環境づくりの向上を図ることができた。

\* 岡谷市の現状のうち、この施策にとって強み/弱みとなる要因

岡谷市の強み	乳児のいる家庭への全戸訪問により、養育環境等の把握ができています。
岡谷市の弱み	市内に分娩できる施設が1施設しかない。

## 5 今後の外部環境の変化

\* 令和2年度以降に予測される社会・経済などの環境変化のうち、この施策に具体的に影響する要因

有利に働くもの	全国的な少子化対策の中で、子育て支援体制が充実してくる。
不利に働くもの	少子高齢化、核家族化が進行し、家庭や地域における子育て機能の低下が懸念される。

## ●改善の内容 (ACTION) / 次年度の計画 (PLAN)

### 6 令和2年度 施策を構成する事務事業の方向性

#### ●基本的な考え方

\* 優先して実施する分野=優先度がA・Bの事業：拡大する事業や新規事業の内容、優先的に実施する理由  
 \* 見直しを行う分野 = 優先度がC・Dの事業：見直しの内容、見直しや廃止をする理由

優先して実施する分野	妊娠・出産・育児について、包括的に支援できる相談体制の整備や、産後のケアとして母乳相談等の充実が図られてきた。 今後は、それら事業の活用促進を図っていく。
見直しを行う分野	

#### ●令和2年度の優先度

\* 方向性が「継続」の事業についてA~Cを、「新規事業」の事業についてAをランク付け。方向性が廃止、完了、統合となっている場合は「-」を付する。 直接事業費・人件費の単位：千円

No	新規事業	様式	実施義務	事務事業名	成果指標	指標名	単位	直接事業費			人件費	妥当性	方向性	優先度
								28年度	28年度	28年度				
								29年度	29年度	29年度				
								30年度	30年度	30年度				
								元年度(予算)	元年度(予算)	元年度(予算)				
1		一般	あり	母子保健事業	教室・保健指導等参加者数	人	6,610	8,844	12,800	高い	継続して実施	B：現状維持		
							5,978	10,321	12,800					
							5,998	11,422	10,000					
							-	11,835	10,000					
2		一般	あり	母子健康診査事業	乳児健診、1歳6カ月健診・3歳児健診の受診率	%	98	38,343	9,440	高い	継続して実施	B：現状維持		
							97	40,138	9,440					
							98	42,202	9,600					
							-	51,291	9,600					
3		一般	あり	乳幼児家庭訪問指導事業	訪問実施割合	%	97	2,591	4,400	高い	継続して実施	B：現状維持		
							100	2,624	4,400					
							100	1,502	4,400					
							-	2,992	4,400					
4														
5														
6														
7														
8														